

# はぐくみ会だより

第 27 号

平成21年 4月 1日



(180×135cm)

## 所蔵作品紹介

(26)

### 「ラピスのアイコン」

藤 森 兼 明 画

作者の藤森氏は昭和10年庄川町に生まれている。29年に本校図案絵画科を卒業し、金沢美術工芸大学油絵科に進学。在学中より日展、光風会展に出品し入選されている。

卒業後デザイナーとして渡米。その間、外国での生活と教会への礼拝を経験されている。帰国後は日展、光風会展への出品を再開し、55年、59年には日展で特選を受賞されるなど、数多くの受賞歴がある。

「ラピスのアイコン」は本校創立100周年記念(平成6年)に寄贈された作品である。

氏の渡米中における宗教への傾倒をうかがわせるように、清楚で美しい女性の背景には、黄金色を用い、浮き出すよう聖堂やキリスト・聖徒が壮麗な色調で描かれている。

平成20年には、「平成19年度日本芸術院賞」を受賞され、翌20年には芸術院会員とられた。本校出身者では、山崎覚太郎氏、郷倉千鞠氏に続いて三人目となり、同窓生にとっては喜ばしく大きな誇りである。



各科最優秀作品

電子機械科



原動機付四輪自動車の製作

機械科



ウィンドシップの製作

建築科



Grid house

電気科



球速測定器の製作

デザイン科



本校食堂の提案

工芸科



鍛金「銅鍋」

「ものづくりを通して」

学校長 林 恵彰

三年生が「課題研究」の授業を中心に、個人又はグループでテーマを決めてほぼ一年がかりで取り組んできた作品を見ていただきました。この「課題研究」は、ものづくりを通して、専門的な知識と技術を深めるとともに、問題を解決する能力や自発的な学習態度を育てることを目標としています。美術館では、ゴーカートや動体視力UPマシンの製作、エレベータ制御など機械工作の腕を生かした作品や、情報処理を駆使した作品などが所狭しと展示してあります。また、設計コンペでその発想が高い評価を受けた作品や完成度の高い作品も多くあり、どの学科の作品にも、その作品の裏には生徒の苦勞の跡が見えていました。生徒は課題研究を通して、みんながどのような工夫をし諦めずに粘り強く取り組んできたか、そのことが如何に大切なことかと気づいたようです。

卒業課題展

2月28日(土)～3月5日(木)

「卒業課題に取り組んで」

平成20年度デザイン科卒業生 平野 斐

私は、この一年間環境デザインコースを専攻しました。そこで、三年間の集大成である卒業課題のテーマとして選んだのは、私たちが学生にとって一番身近である本校の食堂と自動販売機設置場所のデザインです。普段利用しなから、もっと私たちが使いやすい食堂を考えてみたいと思っただけです。自分のデザインした空間を皆さんが使用しているところを想像しながら制作するのはとても楽しかったです。私は、四月から設計事務所への就職が決まっています。これまでこの学習や経験を生かして頑張っていきたいと思っています。

常設展Ⅲ期

12月18日(木)～2月18日(水)

「工芸高校所蔵名作品展」

本校は昭和59年に創立90周年を迎え、記念事業の一環として収蔵美術品の図録を刊行いたしました。絵画、彫刻、工芸など部門別に慎重な選別を行い、撮影も商業写真家に依頼して進められました。当時は450点の作品を収蔵しており、毎年10月の尚美展には一般公開し、多くの方々の見学をいただいています。

本展では図録から公開機会の少ない作品を選び、日本画では肉質浮世絵である勝信筆「ふみから図」を展示したほか、旧職員や卒業生の彫刻・工芸品など数々の名作を鑑賞していただき感銘を与えるものとなりました。



常設展Ⅳ期

3月14日(土)～4月5日(日)

「工芸高校の美術工芸」

平成6年には創立100周年を迎え、同窓生により美術・工芸界で活躍中の卒業生をはじめ、本校にゆかりのある作家達に作品の寄贈を呼びかけました。賛同をいただき、寄せられた作品は、日本画13点、洋画10点、彫刻14点、工芸33点、デザイン、写真4点など総計74点にも及びました。

本展では、これらの寄贈作品の中でも斬新な

感覚で表現された31点の異色作品を中心に展示いたしました。新鮮で色彩豊かな絵画や、鋭く構成的で重量感のある工芸作品など見学の皆様にはご堪能いただきました。



## 新収蔵作品展

3月14日(土)～4月5日(日)



創立100周年以降に本校へ寄贈された作品は90点余となりました。今回の展示では、昨年引き続き、日本画、洋画、工芸、デザインなど17点に加え、青井中学生美術展第1回展から今年度の15回展までの歴代大賞作品15点を展示しました。

なかでも、頭川徹氏の100号の大作「クレインのある風景」の洋画は、淡いグレーの色調と力強い構成に迫力が感じられました。金工では須賀月真氏作「水紋透水指」は蠟型鋳造ならではの繊細な美しさと品位がありました。また、デザインでは上野博之氏の「グリーン・キラー」は4枚組みの大幅面であり、赤・黒2色の色面構成は斬新で見応えのある作品でした。

ベテラン作家に加えて展示しました中美展の大賞作品は、絵画9点、デザイン3点、立体3点でしたが、中学生の作品とは思われないような色彩の豊かさと優れた構成力、表現技術の高さなど、見学された方々から驚きの声と賛辞が聞かれました。

## 催事案内

## 高岡市民美術展・招待作品の展示

四月十八日(出)～五月五日(火・祝日)

## 常設展Ⅰ期

五月十六日(出)～七月三十一日(金)

## 同窓生ギャラリー

第52回 五月十六日(出)～五月二十四日(日)

第53回 五月三十日(出)～六月二十八日(日)

## 文化部合同展

七月十一日(出)～七月三十一日(金)

## 常設展Ⅱ期

八月十一日(火)～十一月三日(火)

## 同窓生ギャラリー

第54回 八月十一日(火)～八月三十日(日)

第55回 九月八日(火)～十月四日(日)

## ポスターケースが改修される!

創立100周年記念事業の一つとして校舎前庭に「芸術の広場」が整備され、中央に四基のポスターケースが建てられました。普段は青井記念館美術館で開催される常設展、同窓生作品展、生徒作品発表の広報パネルとして使われています。



東西南北に建てられたパネルには老朽化したものもあり、昨年10月17日に改修されました。材質も新しく夜間には照明がつくなど、一層美しくなり市民の皆様が親しまれるものとなりました。

## はぐくみ会会員募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。申し込みは日付から一年間会員となります。

## 主な活動

- ・青井記念館美術館への協力・支援
- ・中学生美術展(青井中美展)への支援

## 特典

- ・企画展等の案内
- ・はぐくみ会だよりの配布

## 年会費

- 一般会員(個人) 二,〇〇〇円
- 特別会員(企業、団体等) 一〇,〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

## 編集後記

昨年4月から一年間勤務させていただきました。多くの方々のご指導をいただきながら、無事勤め終えることができ感謝いたしております。

本校の学生であった頃には目に触れることもなかった数々の素晴らしい作品を、このように身近に接する機会を与えていただいたことに重ねて感謝いたします。

本校は、人間国宝、日本芸術院賞受賞者をはじめ多くの芸術・文化を担う方々を多数輩出しております。あらためて110年余に渡る本校の伝統に誇りを感じ、敬意を表したいと思います。

これからも皆様と親しまれる美術館でありますよう、ご祈念いたしております。(端野記)

## 編集発行

富山県立高岡工業高等学校

青井記念館美術館はぐくみ会

住所 933-8518 高岡市中川一丁目二〇

TEL 〇七六六二一一六三〇

FAX 〇七六六二一一六三一